



1月
6日

書初めに挑戦

国東半島あいルネサンス連盟（会長・三河明史市長）主催の「第7回国東半島書初め大会」が1月6日（日）、武蔵中央公民館などで開催されました。この大会は、国東半島の市町村を順にテーマに取り上げており、市内外の小中学生169人が、今年のテーマ「豊後高田市」に関する課題に取り組みました。

会場では、決められた枚数の用紙が配布されると、子どもたちは制限時間いっぱいまで取り組んで、できあがった中から自分で1作品を選んで出品していました。

会場では、決められた枚数の用紙が配布

自転車通学生に安全用品を配布

国東市交通安全推進協議会（会長・三河明史市長）は、冬の夜道での自転車事故を防止しようと、市内4中学校の自転車通学生にLEDリアライトやタイヤライトなどの交通安全用品を贈りました。同協議会は、市や県、警察、区長会、PTA、老人クラブ連合会など各種団体の代表者で組織し、交通安全運動や交通安全教育の推進に取り組んでいます。

1月8日（火）、国見中学校（国廣耕治校長・93人）で贈呈式が行われ、副会長の山本泰光教育長から、全校生徒に対して、事故の要因と対策の話があり、生徒会長の山口拓也さん（3年生）へ交通安全用品が手渡されました。山口さんは「自分の身は自分で守り、交通安全に努めます」とお礼を述べました。

1月
8日



（左から）国廣校長、山口さん、山本教育長



1月
10日

ロボット相撲全国大会で国東高校が3位入賞！

平成24年11月25日（日）に埼玉県で行われた、第20回高校生ロボット相撲全国大会ラジコン型部門で、国東高校工業技術部の松廣隼平さん（3年）と川野順也さん（2年）の「大器晩成」が、第3位に輝きました。

1月10日（木）、松廣さんと川野さんが市役所を訪れ、三河明史市長に全国大会出場結果を報告しました。三河市長は「強豪校である国東高校は他校のマークが厳しかったと思いますが、その中でも3位入賞という成績は非常に素晴らしいものです」とお祝いの言葉を述べました。ロボットを操縦した松廣さんは「初出場で緊張しましたが、全力を尽くしました」と感想を述べ、補助員をした川野さんは、「次回は、全国優勝を目指してさらに頑張ります」と決意を述べました。

（左から）三河市長、松廣さん、川野さん

力を尽くしました」と感想を述べ、補助員をした川野さんは、「次回は、全国優勝を目指してさらに頑張ります」と決意を述べました。

伝統的な正月遊びを満喫

1月13日（日）、弥生のムラ・国東市歴史体験学習館で、新春の恒例行事「七日正月」行事が行われ、約300人の家族連れが、たこあげや羽根突きなどの伝統的な正月遊びを楽しみました。

正月を祝う豊後万歳のオープニングに続いて、参加した皆さんには、古代石窯料理講座生の皆さんから、1年の健康を祈って七草がゆと、米粉の石窯ピザが振る舞われました。おなかいっぱいになると、その後は、インストラクターの指導で羽子板やたこ作りに挑戦。思い思いの絵を描くなどして完成すると、小雨の降る天候でしたが、元気に外で遊ぶ子どもたちの姿もありました。

1月
13日

